

# Monthly Letter



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～平成31年度)  
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』  
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学

## インターンシップ WG

### 「インターンシップに積極的な合同企業セミナー」を開催

6月15日福井大学文京キャンパスにて「インターンシップに積極的な合同企業セミナー」を開催しました。夏季休暇中における学生のインターンシップ参加熱がより一層高まっているなかで、前年度に引き続きCOC+参加大学の福井県内5大学の学部生・大学院生を対象に開催をしたものです。当日は私服姿の学生が多く、自然体でかつカジュアルな雰囲気の中で行われました。出展企業は県内外38社、参加学生は延べ208名といずれも前年度を上回る結果となりました。「直接企業情報を聞きたい」と熱意を持った学生で会場がいっぱいになり、学生のインターンシップに対する関心の高さを改めて感じました。



熱気あふれる会場内の様子

参加企業の多くが若手職員やOBOGをプレゼンターとしており、就活前の学生に対し、若者の目線で自社のインターンシップの特徴を熱くPRしていました。セミナー後のアンケートでは、学生満足度(満足・やや満足と回答)は100%、そのうち98.3%の学生が「参加したいと思うインターンシップがあった」と回答し、就活前の1～3年生にとって、色々な可能性を模索する大変有意義なイベントとなりました。

(福井大学 キャリア支援室 宮崎詩織様より寄稿いただきました)

### 平成30年度後期 大学連携センター(Fスクエア)、TV講義の科目が決定

10月3日から、平成30年度後期の大学連携センター(Fスクエア)講義及び双方向遠隔授業配信システムを利用した各大学でのTV講義が始まります(詳細はシラバスを参照してください)。積極的な受講を期待しています。

科目	開講場所	科目	開講場所	科目	開講場所
福井の文化と社会 ／福井県立大学(水③)	Fスクエア	基礎健康科学 ／福井工業大学(金⑤)	Fスクエア	ふくいを知る・見る・考えるⅡ ／福井大学(集中)	Fスクエア
「歴史」のトピア(歴史文化論から歴史教育まで) ／福井大学(水④)	Fスクエア	福井で働くということ ／福井県立大学(土③④隔週)	Fスクエア	災害ボランティア論 ／福井大学(木①、一部集中)	福井大学(8:45～10:15)、 一部集中時:Fスクエア
英語特講 ／福井県立大学(水④)	Fスクエア	地域課題にデザイン思考で取り組む ／福井県立大学(集中)	Fスクエア	地域研究概論 ／仁愛大学	仁愛大学、 一部:Fスクエア
英語特講 ／福井工業大学(水⑤)	Fスクエア	東日本大震災をどう受け止めるか ／福井大学(集中)	Fスクエア	社会学B(現代農村の社会学) ／福井大学(月①)	TV講義(8:45-10:15)
実践恐竜学 ／福井県立大学(木④)	Fスクエア	情報化社会の現在と未来 ／福井大学(集中)	Fスクエア	家族心理学 ／仁愛大学(月③)	TV講義(13:00-14:30)
地域特講E(手話講座) ／福井県立大学(金③)	Fスクエア	白川文字学 ／福井大学(集中)	Fスクエア	日本文化の歴史 ／福井工業大学(火③)	TV講義(12:40-14:10)
教育の歴史から学ぶ～窓ぎわのトットちゃんと近代の教育～ ／福井大学(金④)	Fスクエア	環境教育論 ／福井大学(集中)	Fスクエア	地域特講C(福井の文化資源とまちづくり) ／福井県立大学(金①)	TV講義(8:45-10:15)

## 学生必読

### シリーズ「ふくい地域創生士®」

10月(予定)から各大学で、「ふくい地域創生士」の申請受付が始まります。申請条件を満たしている学生の皆さんは、下記ふくい地域創生士HPリンク先から申請書をダウンロードし、準備を始めましょう。大学によって、申請受付期間が違います。各大学窓口へ確認をしましょう。

#### 【コーディネーターのちょっこし耳よりなお話し】

大学連携センター(Fスクエア)の開講講義を受講したことがないそのキミ! 受講することで、福井について詳しくなれることや他大学の先生や学生と交流できることはもちろん、「ふくい地域創生士」の申請要件である地域志向科目の単位修得が可能になります。ぜひ、受講しよう!



ふくい地域創生士®  
HPリンク先



吉田  
コーディネーター

## まちづくり 分野WG

# 5大学の学生が団結して、和田de路地祭を盛り上げる！

今年7月の開催で10年目の節目を迎えた“和田de路地祭”の運営に関わりながら、まちづくり分野WGでは「まちづくり実践WS」を通して、和田の景観等の魅力を発信し、継承していくための活動を行ってきました。県内5大学が連携する体制になり、3年目を迎えた今年、これまでの経験を活かし、学生グループとしての仕組みづくりなどを積極的に考えました。このことで、学生と地域がより密に繋がった時間を過ごせました。

昨年度は学生22名体制でしたが、今年度は、短期間でのメンバー募集であったにも拘らず、41名と非常に多くの学生が5大学から参加してくれました。特に、新メンバーの積極性が地域とのつながりを強くし、これまでに参加してきた学生への刺激になっていました。

路地祭では、路地全体を活用した企画が行われ、子どもの笑顔や楽しそうに過ごす人の姿が見られました。来年以降は、地域の皆さん



昔あそびの様子(企画・ものづくり班)

との繋がりを大切にしていきながら、和田地区の素晴らしい景観と民宿遺産をどのように残していくのかなど、和田地区の将来を見据えた活動を学生企画のなかに盛り込みたいと考えています。これからも、まちづくり分野WGが“1つの研究室”のような存在であって欲しいです。まちづくり分野WG一同

(福井工業大学 大学院1年 山田将大さんより寄稿いただきました)



地域の方、学生メンバーの様子



地域住民との長街宴の様子(前夜祭)

## 国際・地域 分野WG

# 福井市中央公園における『ローマの休日』の野外上映会

7月22日に福井市中央公園において、COC+の県内5大学連携事業としての役割も担った『ローマの休日』野外上映会が、実施されました。これは福井大学国際地域学部の基幹科目である「課題探究プロジェクト」の取り組みの一環として企画された上映会で、4ヶ月弱という限られた時間の中で計画・準備されたため、不行き届きの点や反省点も少なからずありましたが、なんとかイベントとしての形を整えることができ、当初の想定以上の好評が得られました。学内関係者で完結してしまうのではないかと、イベント自体の魅力に欠けるのではないかと、などといった不安も、参加してくださった方の温かいお言葉のおかげで、満足感と達成感に変わり、それらが今も心地よく胸に残っています。また、福井大学工学研究科明石研究室の協力を得て設置されたイルミネーションの彩りが『ローマの休日』の上品な雰囲気とうまく合致していたのも印象的でした。

現在では体験する機会の少なくなった野外上映会を、福井市民の憩いの場として再整備されたばかりの中央公園で実施することができた意義は大きいと言えます、また夏の夜空の下で名作映画を鑑賞できたことは、主催者と参加者の双方にとって貴重な経験となりました。大学に求められている「地域との繋がり」を推進してゆく上でも、このようなイベントの開催は有効な手段となり得ると思うので、可能であれば今後何かしらの形で今回のようなイベントの企画・実施に関わってゆきたいと考えています。



野外上映会の様子

(福井大学 国際地域学部3年 織田賢祐さんより寄稿いただきました)

## 編集後記

今回の裏面の記事は、活動に取組んだ学生さんからご寄稿いただき、「粹いっぱい」の想いの詰まった言葉で活動内容や地域への愛着を表現してくれています。是非ご一読ください！

ところで、私が福井へ引っ越してきて、早2年になります。2年前の福井はこんなに暑かったかな？と疑うくらい、毎日暑い日が続いています。今年は首にひんやりしたものを巻かないと、徒歩通勤ができないほどです。

私事ですが、8月末をもって、COC+事務局から旅立ちます。COC+の仕事を通じて、福井の魅力をたくさん知ることができたのは、私にとって財産です。お世話になった皆様、ありがとうございました。(折笠)

